

南小だより

文責 校長 櫻井



校外学習続く

田んぼの周りの様子・葡萄農家見学・大平少年自然の家宿泊・稲刈り・ようこそ先輩・東武動物公園・自動車工場見学など各学年の校外学習や体験活動が続いています。それぞれが道德教育の実践の場であったり教科学習の一環であったりと、各学年の学習内容のねらいに応じた活動が計画され、実施されています。

子どもたちにとっては、日頃の座学から解放され、楽しいひとときとなる活動ですが、

物見遊山で終わらないよう事後指導をしっかりと行い、学習や生活に生かせるよう各担任には求めています。

学校行事は、日常の学習活動の延長上にあるもの。事前・事中・事後の各指導をしっかりと行うことで教育効果を上げたいと考えています。

各活動でお世話になった関係者の皆様には、今後もご協力をよろしくお願いいたします。

表現活動交流会

9/11

この日、第十七回目の表現活動交流会が行われました。毎年二学期と三学期に各一回ずつ行われてきましたので、九年目になる活動です。

短大生と本校児童が、國學院栃木短期大学の早川教授のご指導の下、音楽活動を通して交流しています。

毎年前回の反省を生かしたプログラムが

組まれており、今年は、別表のような題材での活動でした。ラップのような自己紹介や竹(トガトン)を使った演奏、琉球音階を使った曲作り等々、児童の発想を引き出した楽しい音楽表現活動でした。

別表	
1年	リズムにのって、お話しよう
2年	トーンチャイムで遊ぼう
3年	リズムを重ねて音楽をつくろう
4年	トガトンで音楽をつくろう
5年	音階から音楽をつくろう
6年	箏で音楽を作ろう



秋季大運動会

9/20

児童数の減少に合わせ、団体競技や演技は昨年までの低・中・高学年ブロックから上・下学年ブロックに。また、より多くの方々に参加していただけるよう地域参加種目を得点種目から外したりと、昨年までの反省を基に、少しだけ工夫を加えて実施しました。



新たな課題もありましたが、改善点は効果があったように思います。

事前準備や当日の運営・後片付けにご協力いただきました保護者や地域の方々には大変お世話になり、ありがとうございますました。

運動会に限らず、少子化に伴う様々な課題が全国各地で顕在化してきています。出来ることから少しずつ工夫改善を図っていきたいと考えています。

表現活動交流会から

校長のつぶやき

本文中にあるように、短大生との交流事業が九年目に入った。他校に勤務していたときから自分のところでも出来るといいなと思っていた活動だが、実現は難しかった。

縁あって主催者に名を連ねて、改めてこの事業の良さを感じている。

子どもたちは、若いお兄さんお姉さん先生と楽しい曲作りの時間だけでなく、給食時の語らいや昼休みの外遊びなど、いつになく実に生き生きとした時間を過ごしている。

教職や保育職を目指す学生にとっては、教育現場の最前線で教え伝えることの難しさや楽しさを体験できる貴重な機会となったはずである。

私たち教職員にとっても、子どもたちが学生と交流する姿を見て、初心に戻って自分を振り返るよい機会となっている。経験を積んだ者の良さを大切にする一

少子化に伴う課題への工夫改善

方で、心の若さを取り戻したいと思っただりとなった。

前述のように少子化に伴う課題が顕在化してきている。

本校では、思考の広がりや深まりなどを求め、昨年北小との合同学習の機会を増やしてきた。

今年は、修学旅行他の校外学習及びその事前学習も合同で行っている。

互いに行き来する輸送手段や打ち合わせの時間の確保など新たな課題も生じたが、インターネットを利用したテレビ電話システムの導入などを視野に入れ、更なる工夫改善を図っていききたい。

